

1 宮城県地域医療構想と仙南医療圏における連携プラン

○ 宮城県地域医療構想

2025年にいわゆる「団塊の世代」が75歳以上となり、医療需要の増大や疾病構造の変化が見込まれることから、県では、適切な医療や介護を、将来にわたって持続的かつ安定的に提供できるよう、平成28年に「宮城県地域医療構想」を策定しました。

○ 地域医療構想の実現に向けた国の「重点支援区域」に仙南区域が全国第1号として選定

2025年において達成すべき医療機能の再編、病床数等の適正化に向け、国による助言や集中的な支援を行う「重点支援区域」に、仙南区域（公立刈田総合病院・みやぎ県南中核病院）が全国第1号として選定されました。国による技術的支援や手厚い財政支援を活用することで、仙南区域の医療機能の再編や病床数の適正化に向けた取組を進めます。

○ 公立刈田総合病院とみやぎ県南中核病院のさらなる連携に向けて

公立刈田総合病院とみやぎ県南中核病院は、仙南医療圏で中核的な役割を果たす一方、車で約20分の距離に近接し、同規模で診療科目や医療機能が重複しており、病床稼働率の低下や医療従事者の不足による病棟の休棟など、多くの課題を抱えています。

このため、東北大学と県は、両病院との協議を進め、両病院の診療科の再編や医療機能の分化を推進し、仙南区域において持続可能な医療提供体制を確保することを目的に、連携プランを提案します。

公立刈田総合病院



みやぎ県南中核病院



2 公立刈田総合病院における病床機能と病床数の見直し（計画）

○ 病床数と病床機能

	再編前	再編後	
	R1	R2	R3
一般	201床	155床	100床
地域包括ケア	48床	48床	48床
回復期リハビリ	51床	51床	51床
合計	300床	254床	199床

○ 診療科目【R3～】

再編後		
総合内科	総合外科	リハビリテーション部門
循環器科	整形外科	透析部門
消化器科	産婦人科	検診部門
神経内科	小児科	
	眼科	
	耳鼻咽喉科	
	皮膚科	

○ 医療従事者【R3～】

	再編前	再編後
常勤医師	25人	18人
嘱託・非常勤	2人	2人
看護師	177人	118人
看護助手	3人	3人
医療技術者	82人	75人
事務	35人	35人